

2024年度後期 課題協学科目

未来の学びを考える

【未来の医工学を考える④】

九州大学 基幹教育院 岡本 剛

(フューチャー・デザイン・コンソーシアム代表)

©岡本 剛 2024 未来の医工学を考える

本資料はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示-継承 4.0 国際 (CC BY-SA 4.0) に従って利用が可能です。

<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/deed.ja>



連絡事項

授業資料はMoodleからも閲覧できます

13:00~13:10

提出物

㊦ 毎週（第1～3週）出すもの

- 活動報告【全員】→Moodleの課題「活動報告」
- 宿題【全員】→Moodleのフォーラム「班活動の記録と宿題」
- ホワイトボードシートの写真【記録係・第3週はなし】
→Moodleのフォーラム「班活動の記録と宿題」

㊦ 最終週（第4週）に出すもの

- スコアシート（活動報告を含む）【全員】
 - 発表資料【班の代表】・・・未提出だと班員全員に悪影響
- ✓ グループワークは重要ですが、班の成果物やスコアシートの評価がそのまま個人の成績になるわけではありません。
 - ✓ 成績には、授業態度、個人の提出物、班の提出物が反映されます。

第1週(プレゼント・デザインとパスト・デザイン)

- ① 現在の医工学の実態を調べ共有しよう(医工学の実態調査)
 - ② 現在世代としてこれからの医工学を考えよう(プレゼント・デザイン)
 - ③ 過去を振り返ろう(パスト・デザインの準備)
 - ④ 過去世代へのアクション(パスト・デザインの実施)
- 宿題:フューチャー・デザインのための「想像の練習」

第2週(フューチャー・デザイン)

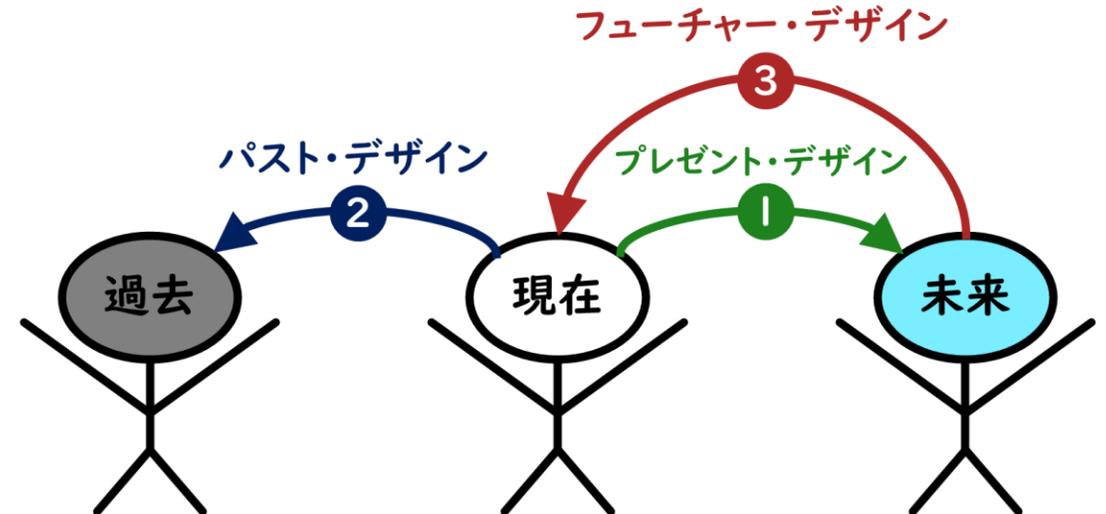
- ⑤ 仮想的にタイムスリップして、50年後の「未来人」になりきる(フューチャー・デザイン1)
- ⑥ 未来人として、「未来の医工学」の理想的な姿を想像する(フューチャー・デザイン2)
- ⑦ 未来人から現在人に対して、「未来の医工学を実現する」または「未来の医工学を軌道修正する」ために今すべきことを提案する(フューチャー・デザイン3)
- ⑧ 提案の効果予想と現実的な評価をし、必要に応じて提案内容を修正する(フューチャー・デザイン4)

第3週(提言書の作成)

- ⑨ 「未来の医工学を実現する」または「未来の医工学を軌道修正する」ために今すべきこと、予想される効果と懸念点をスライドにまとめる。

第4週(提言書の発表)

- ⑩ 全ての班が提言書をプレゼンし、スコアシートに記入して学生同士で評価する。
- ⑪ プレゼント・デザインとフューチャー・デザインで思考がどのように変わったかをふりかえり、フューチャー・デザイン思考の効果について検討する。



次回の発表スケジュール

- 13:00-13:10 諸連絡
- 13:10-13:30 最終打合せ・リハーサル
- 13:30-14:30 発表(1~5班)と審査
- 14:50-15:50 発表(6~10班)と審査
- 15:50-16:20 資料提出・活動報告

審査について

審査のポイント（以下の項目についてそれぞれ0～5点で採点）

- 説得力：メッセージが具体的で、未来からの視点として納得感がどの程度あるか。
- 独創性：解決策や視点がどれだけ新しいか。未来人としてどれだけユニークな視点か。
- 共感性：メッセージを送られた「現在人」として、どれだけ共感でき、受け入れられるか。
- プレゼン：資料の質、準備、わかりやすさ、質疑応答の的確さ

㊦ 審査のやり方（発表班以外の学生全員）

- スコアシートに採点・メモをして発表後に提出

㊦ 発表後の審査コメントと質問

- 審査担当班の担当者のみがコメントと質問をする
- 岡本とTAがすべての発表の最後に全体にコメントをする

スコアシートの書き方

スコアシートの指示にしたがって書いてください

スコアシートの書き方:

- ・薄い黄色のセルを全て埋めてください
- ・まず、自分の班番号、学生番号、氏名を書いてください
- ・全ての班について、例にならって各項目を0~5点で採点してください
(自分の班については「自己評価」として後で採点してください)
- ・審査のポイント
 - ・説得力: メッセージが具体的で、未来からの視点として納得感がどの程度あるか。
 - ・独創性: 解決策や視点がどれだけ新しいか。未来人としてどれだけユニークな視点か。
 - ・共感性: メッセージを送られた「現在人」として、どれだけ共感でき、受け入れられるか。
 - ・プレゼン: 資料の質、準備、わかりやすさ、質疑応答の的確さ
- ・コメント欄には、その発表に関する「講評コメント」を書いてください
(※講評: 説明を加え理由をはっきりさせながら批評すること)
(自分の班については「活動報告」として次のことを後で書いてください)
 - ① 今日、自分が担当したこと (例: 発表)
 - ② 自分たちのプレゼンの良かった点と反省点
 - ③ フューチャー・デザインをやった感想、フューチャー・デザインのもっと良いやり方の提案などを書いてください

自分の班番号: 学生番号: 氏名:					
	説得力	独創性	共感性	プレゼン	合計
例	4	5	1	3	13
	・ここにコメントを書いてください(Alt+Enterで改行可)。 ・書ききれない場合は、セルのサイズを変えても可。				
	説得力	独創性	共感性	プレゼン	合計
1班					0
	説得力	独創性	共感性	プレゼン	合計
2班					0

最終打合せと リハーサル

～13:30

発表の役割分担の確認

① 発表（全員でも可）

② 発表補助（何名でも可）

③ 感想を言ってから質問する人（1～2名）

- スコアシートは全員がつけますが、「感想を言ってから質問する人」には班を代表して発表後に**感想（審査コメント）**を言ってから**質問**をしてもらいます。
- 1～5班が発表 → 班番号+5の班の担当者が、発表後に感想と質問
- 6～10班が発表 → 班番号-5の班の担当者が、発表後に感想と質問

審査のポイント（以下の項目についてそれぞれ0～5点で採点）

- 説得力：メッセージが具体的で、未来からの視点として納得感がどの程度あるか。
- 独創性：解決策や視点がどれだけ新しいか。未来人としてどれだけユニークな視点か。
- 共感性：メッセージを送られた「現在人」として、どれだけ共感でき、受け入れられるか。
- プレゼン：資料の質、準備、わかりやすさ、質疑応答の的確さ

発表資料最終確認（発表7分＋質疑応答3分）

以下を含む「未来人からの提言書」をスライド10枚程度にまとめる。
動画にして当日動画を再生しても良いが、質問には直接答えること。

1. タイトル・班の番号・メンバー氏名 **正しく書いているか？**
2. 医工学に関して注目したトピックの説明 **明確に書いているか？**
3. 未来人になって見てきた2074年の世界（人々の暮らしと上記トピックの未来実態）
4. 未来人になった自分たちが現在の人々に送るメッセージ
 - ・ 2074年の何を今から実現していくのか or 2074年の何をなかったことにしたいのか
 - ・ 2024年の誰（個人、病院、研究機関、自治体、文科省、政府・・・）に何をリクエストするのか
リクエスト内容は、継続する or 廃止する or 新たに取り組む ことを考える
5. 現在の人々の立場でメッセージを評価
 - ・ A.そのまま受け入れ可能 or B.修正すれば受け入れ可能 or C.現実的には受け入れ不可
6. B.C.の場合、メッセージをどのように修正すればいいか

他人の著作物等の出典を明記しているか？

13:30まで接続確認と
リハーサルをしましょう

ベルが鳴るタイミング

5分



7分



10分



発表（1～5班）
審査（6～10班）
タイムキーパー：TA

13:30～14:30

発表（6～10班）

審査（1～5班）

タイムキーパー：TA

14:50～15:50

講評

15:50~16:00

来週の予告 活動報告、後片付け

16:00~16:20

スコアシートと発表資料の提出

① スコアシートは全員提出

● 薄い黄色のセルを全部埋めること

- 他班: 審査
- 自班: 活動報告

● 詳細はスコアシート参照

② 発表資料は班ごとに何らかのファイルを必ず提出

● リンクだけ貼るのは不可

● 未提出だと班員全員に悪影響が出ます

スコアシートの書き方:

- ・ 薄い黄色のセルを全て埋めてください
- ・ まず、自分の班番号、学生番号、氏名を書いてください
- ・ 全ての班について、例にならって各項目を0~5点で採点してください
(自分の班については「自己評価」として後で採点してください)
- ・ 審査のポイント
 - ・ 説得力: メッセージが具体的で、未来からの視点として納得感がどの程度あるか。
 - ・ 独創性: 解決策や視点がどれだけ新しいか。未来人としてどれだけユニークな視点か。
 - ・ 共感性: メッセージを送られた「現在人」として、どれだけ共感でき、受け入れられるか。
 - ・ プレゼン: 資料の質、準備、わかりやすさ、質疑応答の的確さ
- ・ コメント欄には、その発表に関する「講評コメント」を書いてください
(※講評: 説明を加え理由をはっきりさせながら批評すること)
(自分の班については「活動報告」として次のことを後で書いてください)
 - ① 今日、自分が担当したこと (例: 発表)
 - ② 自分たちのプレゼンの良かった点と反省点
 - ③ フューチャー・デザインをやった感想、フューチャー・デザインのもっと良いやり方の提案などを書いてください

自分の班番号: 学生番号: 氏名:					
	説得力	独創性	共感性	プレゼン	合計
例	4	5	1	3	13
	・ここにコメントを書いてください(Alt+Enterで改行可)。 ・書ききれない場合は、セルのサイズを変えても可。				
	説得力	独創性	共感性	プレゼン	合計
1班					0

やるべきことが終わったら
後片付けをして帰りましょう
2コマ×4週お疲れさまでした